

平成30年3月30日

各位

株式会社 紀陽銀行

【地方創生】新事業・研究開発支援事業
**「平成29年度『紀陽イノベーションサポートプログラム』の採択企業を決定
～5社に対し事業化に向けた長期支援を実施します～**

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、「地方創生」に向けた事業性分野の取り組みの一つとして、創業後まもない企業やベンチャー企業、新たな事業分野への進出をめざす事業者さまへのご支援を目的に、平成27年度より「紀陽イノベーションサポートプログラム」を実施しています。

今年度は、平成29年10月1日から平成29年11月20日まで募集をおこない、合計19の事業者さまよりご応募をいただきました。研究開発テーマについては、独立行政法人中小企業基盤整備機構や国立研究開発法人産業技術総合研究所等、技術面や市場に関する知識と経験が豊富な7名の外部専門家で構成された評価委員会での評価をもとに総合的に判断し、5社を採択しました。

なお、採択企業には、事業計画のブラッシュアップや事業化・商品化に向けたサポートプログラム（支援計画）の策定をおこないます。今後、サポートプログラムを実施していく中で、研究成果や課題に応じて当行が持つソリューション機能等を活用し、専門家等と協議しながら適切な支援メニューを提供します。

これまでの採択企業と合わせ、本事業により研究開発を支援している企業は19社となります。

紀陽銀行は、地域事業者の皆さまと一体となり、地域経済の発展・成長と地域活性化に貢献し、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

記

【平成29年度「紀陽イノベーションサポートプログラム」採択企業5社（50音順）】

| 採択企業 (所在地) | 研究開発テーマ | 共同研究機関 |
|---------------------------------|---|--------------------------|
| 株式会社 I.SPoT (大阪府大阪市) | タクシー需要予測システムの開発・実装 | 大阪大学 |
| 株式会社 片木アルミニウム製作所 (大阪府泉南市) | アルミニウム加工工程における薄板軟質材の加工端面品質向上を目的としたスリッター手法の開発 | 鳥取県産業技術センター |
| 株式会社 木幡計器製作所 (大阪府大阪市) | デジタル式アウトレットテスターの開発および連携可能な医療ガス設備保守点検システムの開発 | 大丸エイクイン(株) |
| 株式会社 松電舎 (大阪府大阪市) | 教育および手術訓練を目的とした内視鏡手術シミュレーション「下町スコープ」の開発 | 大阪市立大学 ものづくり医療コンソーシアム |
| 株式会社 HEAVEN Japan (大阪府河内長野市) | アンダーウェアにフレキシブルセンサーを装着し自動測定したデータを集積・分析・還元する健康管理システムの開発 | 大阪府立大学 |

(ご参考)

「紀陽イノベーションサポートプログラム」概要（平成29年度は募集を終了しております）

| | |
|--------|---|
| 対象となる方 | 商品化や事業化をめざし、大学・研究機関と共同研究を実施している、または生産性向上に資するサービスの創出（課題解決型事業等）に取り組んでいるベンチャー企業を含む法人または個人。 |
| 応募方法 | 当行所定の応募申請書に必要事項を記入し応募。 |
| 評価 | 応募いただいた研究開発テーマについて、公的支援機関（中小機構近畿等）や有識者など第三者機関を中心に構成する評価委員会により、「革新性」「市場性」「実現可能性」「事業化に向けた体制」等、総合的に判断。 |
| 支援内容 | <p>(1) サポートプログラムの策定 事業計画のブラッシュアップおよび商品化・事業化に向けたサポートプログラム（支援計画）を策定。</p> <p>(2) 事業（研究開発）ステージに応じた適切なサポートの実施 事業化に向けた取り組みの成果や課題に応じて専門家等と協議しながら適切な支援メニューを実施。</p> <p>(3) 研究奨励金の支給（1テーマあたり50～300万円（累計）） 採択時に原則50万円を支給（研究ステージに応じて増額する場合あり）。以降、サポートプログラム実施期間中は、年に一度、事業化の進捗状況や成果の確認をおこない、市場での販売開始等、事業化への進捗をもとに追加支給の可否および支給額について決定。</p> |
| 支援期間 | 採択された研究開発テーマ毎に概ね3～5年以内。 |

以上